

保護者・生徒の皆様へ

令和 6 年 3 月 7 日
大阪府立富田林高等学校
校長 田中 肇

令和 5 年度学校教育自己診断結果について

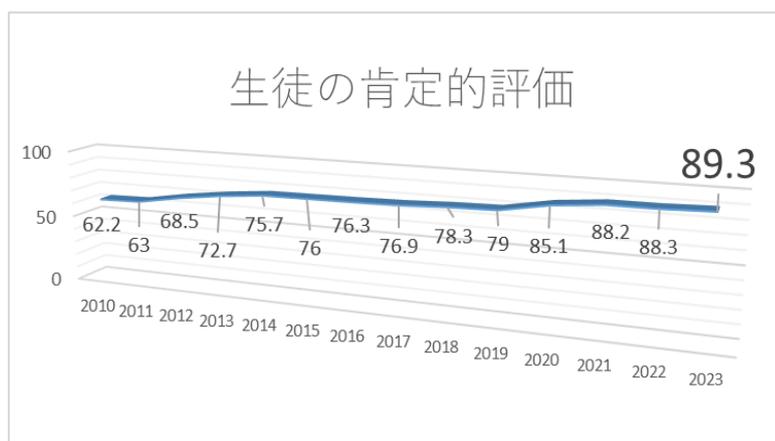
向春の候、保護者の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、先日実施いたしました学校教育自己診断の結果が集計できましたので、全校生徒からの回答を中心に、その内容の一部をご紹介します。自己診断結果の全容につきましては、別添の資料をご参照ください。また、同内容を本校ホームページにも近日掲載予定です。生徒の皆さんには、自分の学校生活の振り返る際に役立ててください。

生徒の肯定的評価は過去最高

右のグラフの通り、生徒の全質問項目に対する肯定的評価の割合は 89.3% となり、昨年度の 88.3% を超えて過去最高となりました。今年度は新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことに伴っていくつかの質問項目で肯定的評価が大幅に増えたこと、また授業に対する評価が向上したことなどが、全体の数値を押し上げたものと考えられます。



授業への評価は過去最高、それぞれの生徒に合わせた学習支援が課題

「わかりやすく興味を持てる授業が多い」「内容を深く考えさせる授業が多い」といった授業に関する質問項目について、前者は 90.2%、後者は 87.7% の生徒が肯定的に回答しています。どちらも肯定的評価の割合が過去最高となり、特に前者の「わかりやすく興味を持てる授業が多い」については 2010 年以降はじめて 9 割を超えました。授業は学校における一番重要な教育活動であり、今後も生徒一人ひとりの学力を伸ばし、進路実現を図るため、学校全体でさらに質の高い授業を提供できるよう取り組んでいきます。

また昨年度からの課題であった一人一台端末の活用についても、肯定的評価の割合が昨年度の 81.2% から約 5 ポイント増加して 86.8% となりました。学校全体で取り組んでいる朝学習の時間にも一人一台端末を活用しています。さらに、定期的に一人一台端末に関する教員研修を実施するなどしており、今後もその可能性を模索し続けてまいります。

進路指導に対する生徒の評価も高水準を維持

昨年度は富田林中学校1期生を含む75期生が卒業し、多くの生徒が自分の希望する進路を実現してくれました。富田林高校としてもこれまでのノウハウを踏まえながら、より体系的な進路指導ができるよう学校全体として取り組んでいるところです。今年度はハイレベル講習を高校2年生まで拡大したり、GEコースを2クラスから3クラスに増設したりするなど、積極的に改革を推し進めてまいりました。また進路集会について、これまでも各学年で定期的実施してまいりましたが、今年度は模試の振り返りや長期休みの学習について等、目的をより明確にし、適切なタイミングで実施しています。「学校の授業や講習で、進路達成に必要な学力が身につく」「学校は進路についての情報をよく知らせてくれる」などの項目で生徒からの肯定的評価が過去最高となり、共に9割を超えていることから、本校の進路指導について一定満足してもらっているようです。

一方、生徒の目標や入試形態が多様化したこともあり、学校としては生徒一人ひとりのニーズに合わせた指導がより重要になってくると考えております。今後も引き続き、それぞれに合った進路の情報を提供するなどきめ細かい進路指導を進めてまいります。

グローバル教育や情報開示など、多くの項目で保護者の皆様の評価も過去最高

今年度は、保護者の皆様からの肯定的評価も88.1%と、過去最高となりました。夏休みには台湾研修やマレーシア研修を実施し、さらにはアメリカやフランスからの訪問団の受け入れなども再開したことから、グローバルに関する2つの評価項目で昨年度から10ポイント増と大幅に改善しました。

こうした高い評価の一方で、今年度は海外研修に参加できる生徒数に限りがあり、希望者が多くいたにもかかわらず希望するすべての生徒に参加してもらうことができませんでした。本校はグローバル教育を科学教育と並ぶ柱として重要視しており、少しでも多くの生徒が高校生の中に海外の文化に触れ、視野を広げてもらいたいと考えておりますので、来年度も引き続き様々な企画を実施してまいります。

また今年度は様々な場面でコロナ禍による人数制限が緩和されたことから、保護者の皆様に学校をご覧いただく機会を多く設けることができました。授業参観や保護者説明会、またホームページや「さくら連絡網」を活用した情報発信など、こうした情報開示の項目での肯定的評価はすべて過去最高となり、来年度以降も引き続き多くの学校の情報を提供してまいります。

自由記述においても皆様から様々なご意見をいただきました。個人情報保護の観点などから公表は控えますが、教職員はもとより、学校運営協議会においても共有化を図り、今後の教育活動に生かしてまいります。学校教育自己診断へのご協力、誠にありがとうございました。